

Multicore Programming Contest - GPU Challenge 2009 -

高速計算プログラミングコンテスト GPU チャレンジ 2009

にて木更津高専情報工学科 白木教員らのチームが

自由課題部門 最優秀賞受賞

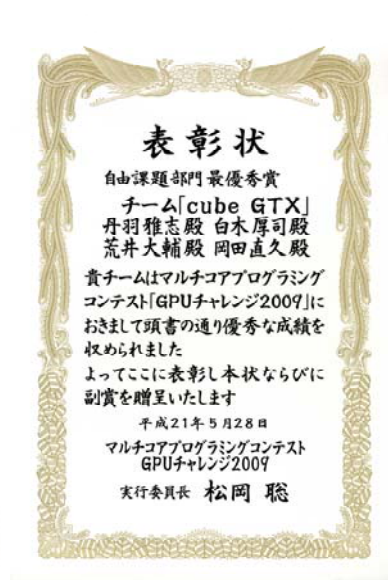
近年、計算機の高速化が注目を集めている。高速化を実現するためには複数のプロセッサが必要となる。複数のプロセッサを持つ GPU (Graphics Processing Unit) がある。(写真参照) そこで、2007 年度から情報処理学会では、高速化を実現するプログラミングコンテストを開催しており、本年度は新たに、GPU を用いたプログラミングコンテスト「GPU チャレンジ 2009」が開催された。

GPU チャレンジ 2009 では自由課題、規定課題の 2 つの部門に分かれている。自由課題では大学教員、企業開発者など、学生以外の参加も可能であり、規定課題ではチームのメンバー全員が学生であることが条件付けられている。

自由課題では 16 チームの応募があり、最優秀賞には本校木更津高専情報工学科白木厚司教員を中心に千葉大学の学生 3 名から構成されたチーム「cube GTX」が選ばれた。規定課題は 43 チームの応募があり、最優秀賞には東京大学のチームが選ばれた。



GPU の概観図



表彰状